

質問日 令和2年12月7日（月）

質問順位 7 潮田 幸子 （一問一答式）

- 1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用
 - (1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の現時点での活用状況と今後の活用計画について
- 2 風水害に対する気象防災力を高める取組
 - (1) 気象災害情報の利活用による防災力向上について
 - ア 熊谷气象台との連携
 - イ 「気象防災ワークショップ」等、平時の職員への研修
 - ウ 市民への「気象防災」の周知はどのように図るのか
 - エ 危険度分布の活用
 - オ 「今後の雨」等の有益なコンテンツ活用
- 3 医療的ケア児・者等の非常用電源確保について
 - (1) 人工呼吸器・たん吸引器使用を必要とする医療的ケア児・者の非常用発電機を日常生活用具給付の対象にすることは可能か
 - ア 人工呼吸器
 - イ たん吸引器
- 4 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
 - (1) 不妊治療に対する支援について
 - ア 埼玉県不妊治療費助成制度と本市の「こうのとりの交付金」利用状況と課題
 - イ 相談体制及び不妊治療費助成
 - (2) 不育症検査・治療に対する支援について
 - (3) 産後ケア事業のさらなる充実の考え
 - ア ショートステイ型
 - イ アウトリーチ（訪問）型
 - (4) 電子母子健康手帳の導入について
 - (5) 新生児聴覚検査導入について
 - (6) 3歳児健診への視力検査導入について
 - ア 現在の3歳児健診における視力検査
 - イ 斜視・遠視など弱視発見のための機器導入についての考え

質問順位 8 織田 京子 (一問一答式)

1 笠原小学校の統廃合について

- (1) 小・中学校の適正規模・適正配置を教育委員会が考えている結果を当事者である保護者は受け入れていることについて
 - ア 市内の今後の小学校の統廃合を考えている学校はあるか
 - イ 学校までの通学路が2キロメートル以上というスクールバスの考え方は
 - ウ 現在の笠原小学校の児童の転校後の体操着や上履きの補助は
 - エ 笠原小学校があるうちは中央小学校の朝の送迎はあるが、廃止後の送迎について
 - オ 笠原小学校が中央小学校に統合された後の放課後児童クラブについて
 - カ 笠原小学校の今後の活用について

2 市で作る市民文芸誌について

- (1) コロナ禍の中、文化芸術の発表の場として市民から募集した短歌や俳句、川柳や詩を掲載した文芸誌を創刊することについて

質問順位 9 加藤 英樹 (一括質問・一括答弁式)

1 市長政策行政

- (1) 合併15年の総括について
 - ア 新市建設計画の総括について
 - イ 合併特例債の活用実績は
 - ウ 施策別戦略的・重点的プロジェクト事業の実施状況と成果について
 - エ 合併15周年記念式典について

2 総務行政

- (1) DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進について
 - ア 事務の効率化の視点での取組は
 - イ 市民の利便性向上につながる取組は
 - ウ 安全に申請等が行われるための公的個人認証の状況は

3 環境経済行政

- (1) 新ごみ処理施設建設について
 - ア 近隣自治体との状況と来年度に向けての取組は

1 総務行政

- (1) 市職員の定数に関する条例に沿って適正な人員配置と賃金を
7つの事務部局で定数は715人、他の兼職者や併任者、他の地方公共団
体に派遣の職員・休職・育児休業の職員は定数外である。適正な人数と賃
金なのか問う

2 教育行政

- (1) 広報こうのす10月号で小中学校の適正配置の検討の取組が載った。内容
は現在の小規模校が小学校8校、中学校5校となっている。市の言い分は
クラス替えや小中一貫教育が教育効果が上がると理由づけしている。具体
的にどの様な成果があるのか。学校運営の展望を示すこと
- (2) 地域の要求に応え笠原小学校の存続を
子どもにとっても一人ひとりが主役であり授業も活動の場が多い。まちづ
くりや地域コミュニティの核であり、耐震工事もされ、避難所としても学
校は地域の宝。存続こそ求められていると思うが見解を伺う
- (3) 11月14日、笠原公民館での住民説明会での住民の声や来年度入学予定
14名への対応を問う

3 鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業について

- (1) 不正・不当な公共事業が許されるのか。正当な数値と施策へ戻すこと
- ア 再開発に「保留地」の概念は無い
- イ 公共事業評価委員会の対応
(E地区)
- (ア) 2013年9月～2014年3月「保留地取得」を市は県と協議、地
権者へ未通知が正当か
- (イ) 2015年7月6日公共管理者負担金無断で申請、7月21日取り
下げ
- (ウ) 公共施設整備費補助金を勝手に変更して、2015年10月19日に
申請した(平成29年度以降も補助金は出た)
- (エ) 2016年10月31日第3回総会決議
施設建築物敷地5,610.00㎡ 公園1,850㎡
(実際は1,823㎡)
実際の敷地は5,610.01㎡ 公園1,822.92㎡
- (オ) 2020年1月17日 17回総会
5,610.01㎡ 決議されていない都市再開発法第30条違反
1,850㎡ 実際は1,822.92㎡ 縦覧が必要
- (2) 正当な補償とすべき
- ア 特定人物への割増評価を正すこと
- (ア) 全部事項証明書との適合性へ改めること
床面積98.54㎡ 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建となっている。

実際は197.04㎡で補償

(イ) ロフトがあるがロフトは床面積の50%まで 100%のロフトも違法

4 福祉行政

(1) 「第2福富の郷」建設場所の見直しを

質問順位 11 | 頓所 澄江 (一問一答式)

1 健康福祉行政

(1) 新型コロナウイルスとインフルエンザ同時流行の備えは

ア 本市における診療・検査医療機関の手挙げの状況について

イ 医療機関への支援について

2 こども未来行政

(1) コロナ禍でも安心して妊娠・出産ができる取組について

ア 分娩前PCR検査費の助成について

3 市民生活行政

(1) 死亡届後の各種手続きをワンストップで担う取組について

ア おくやみコーナーの設置について

イ おくやみコーナー設置自治体支援ナビの導入について

4 環境経済行政

(1) キャッシュレス決済の普及促進に向けた環境整備について

ア 消費者への啓蒙・啓発について

イ キャッシュレス決済手数料及び端末代等、経費の補助について

(2) 人と動物が共生する社会づくりについて

ア 飼い主の適正飼育の普及啓発の取組について

イ 地域猫活動の推進について

(ア) 不妊・去勢手術について

(イ) 地域猫活動グループへの支援について